

東洋システム(安)を、前部から後部にかけて  
田勝彦社長一本社・岐二区画以上に区分の上、  
車庫各務原市金属団地 これに対応する温度セン  
九七(四)は、約十年サーと入気口調整装置を  
ない。

前から当時、トンネル 設け、区画ごとに設定温  
換気の欠点であった冬 度をターゲットとする制  
期舎内温度の前後格差 御を行なう。  
②九月十七日以降に完  
工予定の鶏舎に新トンネ  
ル換気を使用する場合

問題の解消に取り組 前記を特徴とする新ト は、同特許を有償公開す  
み、一九九六年に、次 ンネル換気が九月十七日る。

の二点を特徴とする新  
トンネル換気を完成さ  
せた。

①入気方式を夏、冬  
で切り替える。すなわ

ち、夏期は鶏舎前部か 五九八二二(三)された 期温度格差対策として  
ら後部に大量の空気を たため、同社では、新トン 入気口を分割せず、静圧  
流して効果的な夏場対 ネル換気が近年、同社以 でコントロールする方式  
策とし(当時あったト 外の設備会社でも利用さ もあるが(同社でもフロ  
ンネル換気)、冬期は ている現状を踏まえ、 イラー鶏舎ではこの方式  
鶏舎前部の入気口を閉 今回成立した新トンネル を採用、多段式でトリ  
じる。

②鶏舎側壁上部また 方針で対応していきたい  
は天井に設けた入気口 としていた。

東洋システム

## 新トンネル換気特許成立

業界に有償公開の方針



冬期、新トンネル換気区分コントロールを行なう入気口駆動装置。停電時舎内が一定温度以上になると自動開放し、停電が回復すると元の位置に戻るよう改良が進んでいる

トンネル換気鶏舎の冬  
期温度格差対策として  
入気口を分割せず、静圧  
でコントロールする方式  
もあるが(同社でもフロ  
イラー鶏舎ではこの方式  
を採用、多段式でトリ  
ントロールする方式は均  
おり、メリットが大き  
いな舎内環境を作る上で  
いと同社では説明して  
いる。

鶏舎を前後で区分コ 成舎でも実績を上げて  
おり、メリットが大き  
いな舎内環境を作る上で  
いと同社では説明して  
いる。

効果が悪く、最近では  
成立した入気口を分割  
寒さが厳しい北海道の青